

厚生文教委員会会議録

平成30年 9月13日(休)

氷見市庁舎委員会室

開会 午前10時00分

閉会 午前10時52分

- 1 案 件 平成30年9月定例会において厚生文教委員会に付託されたもの
- 2 出席委員 6名
小清水委員長、正保副委員長、濱井委員、上坊寺委員、山本委員、萩山委員
- 3 委員外議員 嶋田議長、稲積議員、越田議員、萬谷議員、竹岸議員、積良議員、谷口議員
- 4 職務のため出席した事務局職員 坂本事務局長、西島副主幹
- 5 説明のため出席した者の職、氏名
林市長、小野副市長、鎌仲教育長、藤澤企画政策部長、高橋総務部長、草山市民部長、荒井教育次長、東軒教育総務課長、高田福祉介護課長、東海子育て支援課長、田中市民課長、三島環境防犯課長 ほか関係職員
- 6 傍 聴 人 3人
- 7 付 託 議 案 別紙付託案件表のとおり
- 8 経過及び結果
 - ・小清水委員長が開会を宣告し、市長挨拶の後、議事を進行した。
 - ・当局の説明を受け質疑応答を行った結果、いずれの案件も全会一致をもって原案を可とすることに決した（主な質疑応答は別紙のとおり）。
 - ・委員会報告は、「児童生徒の防犯安全対策について」を特筆することとし、作成は委員長に一任された。
 - ・本委員会の所管事項について、閉会中も継続して調査する必要があるため、会議規則第111条の規定により、委員長から議長に継続審査を申し出ることとした。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

平成30年9月13日

氷見市議会厚生文教委員長

小清水勝則

平成30年9月厚生文教委員会付託案件表

平成30年9月13日(木) 午前10時

氷見市庁舎A棟2階委員会室

◎ 教育総務課等

- ・ 議案第47号 平成30年度氷見市一般会計補正予算(第2号)中
教育総務課等所管に係る事項……………説明書A-20
- ・ 議案第57号 氷見市青少年問題協議会設置条例の廃止について……………議案書I-7

◎ 福祉介護課

- ・ 議案第47号 平成30年度氷見市一般会計補正予算(第2号)中
福祉介護課所管に係る事項……………説明書A-10
- ・ 議案第52号 平成30年度氷見市介護保険特別会計補正予算
(第1号)……………議案書G-1

◎ 子育て支援課

- ・ 議案第47号 平成30年度氷見市一般会計補正予算(第2号)中
子育て支援課所管に係る事項……………説明書A-12

◎ 市民課

- ・ 議案第47号 平成30年度氷見市一般会計補正予算(第2号)中
市民課所管に係る事項……………説明書A-10
- ・ 議案第50号 平成30年度氷見市国民健康保険特別会計補正予算
(第1号)……………議案書D-1
- ・ 議案第53号 平成30年度氷見市後期高齢者医療事業特別会計補正
予算(第1号)……………議案書H-1

◎ 病院事業管理室

- ・ 議案第49号 平成30年度氷見市病院事業会計補正予算(第1号)……………議案書C-1

◎ 環境防犯課

- ・ 議案第47号 平成30年度氷見市一般会計補正予算(第2号)中
環境防犯課所管に係る事項……………説明書A-12

(注) 一般会計における繰出金、人件費、財源補正及び節区分補正に係る説明は不要です。

主な質疑応答

教育総務課等 萩山委員	条例がある間の氷見市青少年問題協議会の実働実績は。
東軒課長	平成23年度から協議会は開催していない。但し、市民会議があるのでそこで青少年の問題等を協議してきた。委員も重複する方がおられるので市民会議のほうで対応させていただいた。
萩山委員	平成23年度以前は実効ある条例だったということか。
東軒課長	いじめ問題に対する講演会など年に1度開いていた。
正保委員	小中学校の備品購入費について。刺股、催涙スプレーの購入といったハード面の整備後、作成済の危機管理対応マニュアルに準じて、速やかにそれを活用できるような形を整えられているのか。
荒井教育次長	新しい備品が入った後には、マニュアルに基づいた訓練や対応を各学校で検討するよう指示する予定にしている。
正保委員	各学校に任せるのか。
荒井教育次長	検討するよう教育委員会から指示するわけだが、どういう対応をするかは学校の配置とかで違うので、その辺の詳細なところは各学校にお願いすること。
正保委員	必要最小限のことは教育委員会で指導し、詳細な部分のマニュアルづくりは各学校にお任せするということでよいか。
荒井教育次長	そのとおりである。
鎌仲教育長	訓練は既にやっている。新しく備品を導入されたから訓練をもう1回やりなさいということではなく、計画の中に入っているのをしっかりと実施していきなさいという指示になる。
山本委員	備品購入については、小規模校に比べて大規模校は進入経路が多いとか、そういう点の考慮は。
東軒課長	大規模校は育友会等で整備されている。調査したら刺股が1本とか防護楯がないところがあったので、刺股4本、防護楯2基、催涙スプレー4本は最低基準として配置するという。大規模校にはそれ以上のものがある。

萩山委員	図書館資料購入費について。寄附がなくても図書の充実は図られているのか。
鎌仲図書館長	新刊や利用者からリクエストのあるものをその都度購入している。今回の寄附分は寄附者がよく読まれていた伝記ものを購入する予定である。
濱井委員	寄附者の名前を付けた文庫といった特設コーナーを作られるのか。
鎌仲図書館長	文庫ではない。蔵書として使っていきたい。
上坊寺委員	<p><案件外>西部中校区小中一貫校検討委員会について 本年6月から西部中校区小中一貫校検討委員会を今まで2回開催した。この2カ月に1回の開催ペースはこれからも同じか。</p>
東軒課長	基本的には2カ月に1回を考えている。校名、校章、校歌等の詳細な部分については、専門部会で協議していきたい。
上坊寺委員	多少の遅れはペースアップでカバーできるか。
東軒課長	検討内容によると思う。早急に決めなくてはならないことが出てくる場合もあるので臨機応変に対応したい。
上坊寺委員	統合した後の3小学校の有効な活用方法を考えてほしいという声が地元から既に上がってきているが、所見を。
東軒課長	8月末の検討委員会でもお話しているが、まずは地元の方の意見を集約し、後は市で考えてくれということであれば、市で対応していきたい。
子育て支援課 山本委員	保育所運営事業費について。この防犯安全器具の購入は公立だけで、私立は要望がなかったのか。
東海課長	今回は公立の分だけである。民間保育所、認定こども園の10園の中には、防犯カメラが既に6園にあり、電子錠は8園にあった。また刺股は2園に催涙スプレーは4園に設置されていた。今後は各園に設置の希望を確認した上で、国の交付金等を活用しながら助成を検討したい。
山本委員	公立のほうが防犯対策が遅れていたということか。
東海課長	建物が古いからか公立には防犯カメラや電子錠はなかった。
山本委員	公立のほうの防犯対策をお願いしたい。

<p>病院事業管理室 萩山委員</p>	<p>資本的収入における実際の県補助金の内示が1,400万弱下回ったのは、お互いの理解の掛け違いとかがあったからか。</p>
<p>七田室長</p>	<p>この補助金はへき地の拠点病院になっている病院に係る医療機器等についての国・県の補助金である。事業費の2分の1で上限が5,400万ということで、今回MRIが2億円余りなので上限額いっぱい要望していた。県のほうは上限の5,400万で予算計上していたが、国のほうの予算配分がそれだけこなかったと聞いている。</p>